



〔備考〕

- 1 印は必修科目，×印は選択必修科目。
- 2 印は再履修授業科目を示す。
- 3 印は2014年度以降にセメスターを変更した科目を示す。

〔履修要件〕

- 1 上位年次の授業科目は履修できない。ただし、基礎科目、関連科目については2年次からこの制限を設けない。また、在籍年次の科目の再履修クラスに限っては、上位年次で開講されているにも履修できるものとする。
- 2 1年間に履修登録できる単位数は、48単位を上限とし、かつ各セメスターに履修できる上限は26単位とする。ただし、第二外国語、選択英語、卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については、この制限を適用しない。
- 3 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は、受講者数に制限がある。情報システム創成学科のクラス担任者と授業科目の担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は、授業時間割表の指示に従って受講すること。
- 5 「卒業研究・」と「卒業制作・」のどちらかを選択すること。これら科目の選択にあたっては、所属研究室の指導教員の許可を得て選択すること。
- 6 「プログラミング演習・」、「工学特別演習・」、「卒業研究・」及び「卒業制作・」については、それぞれの先行科目(ローマ数字の値が小さい科目)の単位を修得している場合に限って、後続科目の履修を許可する。
- 7 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学」及び「微分積分学」の未修得者に限る。ただし、「微分積分学入門」を再履修することは認める。

〔コース制〕

- 1 コースについては、1年次当初に決定する。
- 2 コース変更は原則認めない。ただし、特別な理由がある者は、2年次進級時において申請により、変更を認める場合がある。

〔進級要件〕

卒業要件単位数に算入されない各種課程に関する科目及び教職関連科目の単位数は総単位数に含めない。

〔1年次から2年次〕

- 1 1年次終了までに、「FYS」の単位を含め、専攻科目のうちの基礎科目、必修科目及び外国語科目から15単位以上を修得していなければならない。

〔2年次から3年次〕

- 2 2年次終了までに、「ファーストイヤーセミナー (FYS)」「工学基礎演習」の単位を含め、総単位数で62単位以上を修得していなければならない。

〔3年次から4年次〕

- 3 3年次終了までに、「工学特別演習」及び「コースワーク」の単位を全て修得し、総単位数で98単位以上を修得していなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の履修とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。また、これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。

- 1 本学が主催、または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し、学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通科目							共通科目合計	専攻科目								専攻科目合計	合計	
	F Y S	外国語科目	教養系科目						基礎科目			選択科目				関連科目			
			キャリア形成科目	人文分野	社会分野	自然分野	健康科学分野		必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	選択必修科目	A群(情報環工学)	B群(最適化科学)				C群(知能社会システム)
2009～2011年度入学	2	4	4	6	4		28	10	12		24	8	20	12	10			96	124

- 2 外国語科目としては、必修科目としての英語を4単位修得しなければならない。
- 3 選択科目から次の単位を含めて42単位以上を修得しなければならない。  
 (1) A群から20単位以上。  
 (2) B群から12単位以上。  
 (3) C群から10単位以上。
- 4 専攻基礎科目で「卒業要件単位数」を超える単位は、関連科目の単位に換算できる。ただし、関連科目は卒業要件単位数に算入しない。
- 5 他学部、他学科開講の専攻科目及び同一言語同一名称の科目を・のペアで修得した(必修以外)外国語科目は関連科目に換算できる。ただし、関連科目は卒業要件単位数に算入しない。

— 教育課程における標準年次の区切線について —

標準年次が実線( )で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できません。  
 標準年次が破線(-----)で区切られている場合、原則として上位年次の授業科目は履修できますが、  
 [履修要件]等にしたがって履修できない授業科目もありえますので注意してください。

2014年度 工学部情報システム創成学科(経営工学コース)教育課程表 (2009年度から2011年度入学者に適用)

(学年は標準年次を示す)

	1年次										2年次										3年次										4年次										卒業要件 単位数
	1セメスター					2セメスター					3セメスター					4セメスター					5セメスター					6セメスター					7セメスター					8セメスター					
	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者	授業科目	単位	担当者								
基礎科目	必修科目	幾何学 物理学概説	4 4	高橋 林田	情報処理演習 物理学実験	1 1	日比野 立山 小原 小林 立山	情報処理演習 物理学実験	1 1	江口 (休講) 永野	情報処理演習 物理学実験	1 1	小林 (有働 小谷)																						10						
	選択必修科目	微積分学入門 微積分学	×4 ×4	(休講) (休講)	微積分学 微積分学 微積分学	×4 ×4 ×4	(休講) 山崎(教) (休講) 何森	微積分学 微積分学 微積分学	×4 ×4 ×4	山崎(教) 鈴木(友) (休講) 山崎(教) 鈴木(友)	微積分学 微積分学 微積分学	×4 ×4 ×4	永野 (永野 鈴木(友))																						12						
	選択科目				幾何学 物理学A	4 2	高樺 西野	微分方程式 物理学B 化学実験 物理学A 幾何学	2 2 1 2 4	大町 小野 田村 岩倉 相澤 高樺	微分方程式 物理学 化学実験 物理学B	2 2 1 2	大町 小野 松田 岩倉 相澤	基礎化学 物理学	2 2	亀山 矢崎 (休講)	基礎化学 物理学	2 2	亀山 (休講)																						
専攻科目	必修科目	情報システム基礎演習	1	中島 細川 高野倉	IE総論	2	松井	生産管理システム 人間工学 エレクトロニクス工学 工業英語 技術者倫理 工業英語 経営管理 プログラミング演習 ロボット工作基礎	2 2 2 1 1 2 1 1	松浦 森 柏木 佐藤 松崎 松丸 高野倉 細川	機電製図 品質工学 技術者倫理 工業英語 制御/プログラミング演習 プログラミング演習	1 2 2 1 1 1	柏木 細川 秋葉 大西 佐藤 松崎 高野倉 休講	実験実習 経営工学演習 工業英語 知的財産権	1 1 1 2	*1 *2 佐藤 松崎 三品	実験実習 経営工学演習 工業英語	1 1 1	*1 *2 佐藤 松崎	卒業研究	4	*2	卒業研究	4	*2											37					
	A群 (経営系)							マネジメントシステム設計論 生産マネジメント 原価工学	2 2 2	松浦 松浦 松丸				環境管理 サービスマネジメント マーケティング	2 2 2	中島 開沼 松井	環境経営 労働安全衛生 国際経営管理	2 2 2	森 村田 高野倉															12 単位以上							
	B群 (管理技術系)							カイゼン基礎工学	2	中島	産業人間工学	2	森	経済性工学 多変量解析	2 2	松丸 松丸	ユーザビリティ工学 サプライチェーンマネジメント 生産管理技法	2 2 2	久保 松丸 松井															10 単位以上							
C群 (技術系)								自動化要素技術	2	熊谷(英)			計測工学 CAD	2 2	菅間 光山	先端製品製作技術 メカトロニクス制御工学演習	2 1	柏木 熊谷(英)																6 単位以上							
選択科目	D群 (情報システム創成コース科目)	コースワーク ファーストイヤー セミナー	1 2	瀬古沢 秋吉 藤岡 奥野 増田  秋吉 内田 西澤 熊谷(匡) 増田	コースワーク 離散数学	1 2	成田 秋吉 藤岡 奥野 増田  (休講)	工学基礎演習 コースワーク 国際コミュニケーション OSと言語処理系 計算機基礎 数理統計学 数理計画法 技術社会システム 計量マーケティング 生産自動化システム	1 1 1 2 2 2 2 2 2	*3 *4 *5 藤岡 瀬古沢 成田 進藤 酒井(勝) 内田 (休講) 酒井(勝)	工学基礎演習 コースワーク 国際コミュニケーション プログラミング演習 アルゴリズムとデータ構造 マルチメディア 計算幾何学 数理統計学 確率過程論 システム工学 企業経済学 計量マネジメント	1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2	*6 *7 *5 酒井(勝) 森田 西澤 今井 内田 奥野 成田 成田 秋吉 松本 (休講) 進藤	工学特別演習 コースワーク 国際コミュニケーション ネットワーク工学 ソフトウェアエンジニアリング ヒューマンインタフェース 数値情報処理 信頼性工学 会計情報処理 システム開発特別講義 プログラミング演習	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1	*8 *9 *5 今井 藤岡 データベース シミュレーション工学 画像工学 複雑系の解析 設計学 制御システム ファイナンス工学 リスクマネジメント ロジスティクス システム開発特別講義																		37 単位以上							
	関連科目				情報と倫理 情報と職業	2 2	前田 古川	応用数学	2	酒井	代数学概論	2	本間	代数学 関数論 量子物理学 統計物理学	2 2 2 2	東川 勝野 儀我 野村 松田	代数学 関数論 応用数学 量子物理学 統計物理学	2 2 2 2 2	東川 勝野 勝野 儀我 堀口 野村 矢崎	高法概説 労働法	2 2	高法概説	2	金尾 坂本																	

\*1 窪谷, 中島, 中易, 松井, 松浦, 松丸, 高野倉, 森, 光山, 高木 \*2 柏木, 中島, 中易, 松井, 松浦, 松丸, 高野倉, 森 \*3 杉本, 秋吉, 井手, 熊谷(匡), 桑野 \*4 今井, 進藤, 奥野, 桑野 \*5 エバンス, 名生, ローソン \*6 今井, 内田, 井手, 熊谷(匡), 桑野  
\*7 瀬古沢, 内田, 藤岡, 井手, 増田 \*8 秋吉, 今井, 内田, 進藤, 杉本, 瀬古沢, 成田, 西澤, 藤岡, 森田, 奥野, 井手, 熊谷(匡), 桑野, 増田 \*9 杉本, 成田, 西澤, 藤岡, 増田 \*10 森田, 西澤, 奥野, 井手, 熊谷(匡) \*11 今井, 西澤, 奥野, 熊谷(匡)

〔備考〕

- 1 印は必修科目，×印は選択必修科目。
- 2 印は再履修授業科目を示す。
- 3 印は2014年度以降にセメスターを変更した科目を示す。

〔履修要件〕

- 1 上位年次の授業科目は履修できない。ただし，基礎科目，関連科目について2年次からこの制限を設けない。
- 2 1年間に履修できる単位数は，48単位を上限とし，かつ各セメスターに履修できる上限は26単位とする。ただし，第二外国語，選択英語，卒業要件単位数に算入されない資格教育課程に関する科目及び教職課程の「教職に関する科目」については，この制限を適用しない。
- 3 他学部他学科開講の授業科目を履修する場合は，受講者数に制限がある。情報システム創成学科のクラス担任者と授業科目の担任者の許可が必要である。
- 4 受講するクラスが指定されている授業科目は，授業時間割当表の指示に従って受講すること。
- 5 「経営工学演習・」及び「卒業研究・」については，それぞれの先行科目(ローマ数字の値が小さい科目)の単位を修得している場合に限って，後続科目の履修を許可する。
- 6 「微分積分学入門」の履修は「微分積分学」及び「微分積分学」の未修得者に限る。

〔コース制〕

- 1 コースについては，1年次当初に決定する。
- 2 コース変更は原則認めない。ただし，特別な理由がある者は，2年次進級時において申請により，変更を認める場合がある。

〔進級要件〕

卒業要件単位数に算入されない各種課程に関する科目及び教職関連科目の単位数は総単位数に含めない。

(1年次から2年次)

- 1 1年次終了までに，「FYS」の単位を含め，専攻科目のうちの基礎科目，必修科目及び外国語科目から15単位以上を修得していなければならない。

(2年次から3年次)

- 2 2年次終了までに，「制御プログラミング演習」の単位を含め，総単位数で62単位以上を修得していなければならない。

(3年次から4年次)

- 3 3年次終了までに，「経営工学演習・」の単位を含め，総単位数で98単位以上を修得していなければならない。

〔学外単位認定制度〕

学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は，本学における授業科目の履修とみなし，卒業要件単位数に算入することができる。また，これらの科目は各年次の履修制限単位数には含めない。

- 1 本学が主催，または推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
- 2 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で，本学における所定の手続きにより認定された単位。
- 3 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で，本学の授業科目として認定された単位。

〔卒業要件〕

- 1 4年以上在学し，学則所定の次表の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。

授業科目 入学年度	共通科目							専攻科目							専攻科目合計	合計	
	F Y S	外国語科目	教養系科目				共通科目合計	基礎科目			選択科目						関連科目
			キャリア形成科目	人文の分野	社会の分野	自然の分野		健康科学の分野	必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	A群(経営系)	B群(管理技術系)			
2009～2011年度入学	2	4		4	6	4	28	10	12		37	12	10	6		96	124
			8									9					

- 2 外国語科目としては，必修科目として英語を4単位修得しなければならない。
- 3 選択科目から次の単位を含めて37単位以上修得しなければならない。
  - (1) A群から12単位以上。
  - (2) B群から10単位以上。
  - (3) C群から6単位以上。
  - (4) 上記(1) - (3)の他に選択科目から9単位以上。
- 4 専攻基礎科目で，「卒業要件単位数」を超える単位は，関連科目の単位に換算できる。
- 5 他学部，他学科開講の専攻科目及び同一言語同一名称の科目を・のペアで修得した(必修以外)外国語科目は関連科目に換算できる。
- 6 関連科目は上記4，5の単位を含めて，4単位までを，上記3(4)の選択科目に換算できる。

——— 教育課程における標準年次の区切線について ———

標準年次が実線( )で区切られている場合，原則として上位年次の授業科目は履修できません。  
 標準年次が破線(-----)で区切られている場合，原則として上位年次の授業科目は履修できますが，  
 [履修要件]等にしながら履修できない授業科目もありえますので注意してください。